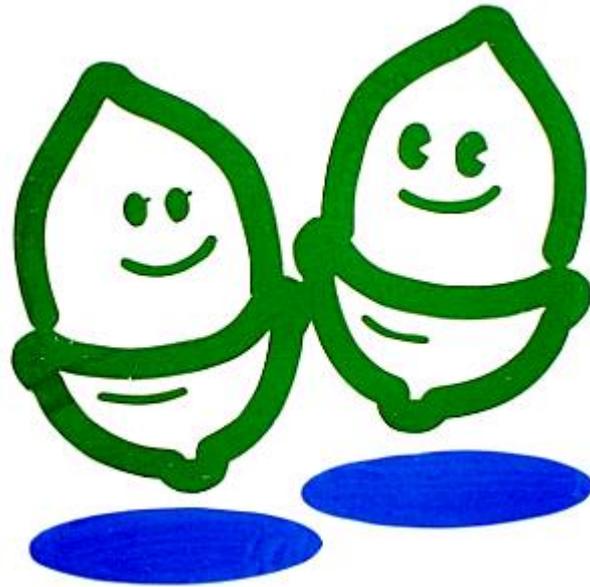


# 令和8年度 利用ガイドブック ( 自然学校用 )



兵庫県立

南但馬自然学校

HYOGO KENRITSU MINAMI TAJIMA SHIZEN GAKKO

*Nature Education Center*

# 目 次

1	施設概要	.....	1
2	施設使用料	.....	2
3	諸経費	.....	2
4	活動用備品等	.....	4
5	入校から退校まで	.....	6
6	キャンプ場	.....	10
7	救急体制	.....	14
8	避難経路図	.....	16
9	施設図		
	(1) 全体図	.....	17
	(2) 施設配置図	.....	18
	(3) キャンプ場配置図	.....	19
	(4) 建物平面図	.....	20
10	内線電話番号	.....	24
11	交通案内図	.....	25

# 1 施設概要

## (1) 建 物

建 物 名	主	な 施 設 定 員 等
本 館	1 階	エントランスホール、医務室、事務室等
	2 階	宿直室、会議室等
生活棟 (6棟) くすのきの館 ひのきの館 とちの館 さくらの館 すぎの館 まつの館	1 階	洋 室 3 室、指導者室 1 室 ※くすのきの館には身障者用の浴室、トイレがあり、 玄関はスロープになっています。なお、浴室を利用 する場合は事前に申し出てください。
	2 階	和 室 3 室、指導者室 1 室
浴 室 棟	1 階	リネン室、乾燥室、休憩コーナー
	2 階	大浴場 (20 人程度) 2 か所 小浴場 (10 人程度) 2 か所
食 堂 棟	1 階	倉庫等
	2 階	食 堂 (定員 270 人)
自然観察館		板張り仕様 (80 人程度) 14.4m×10.8m 各種自然観察器具を備えています。 ※イスを使用しない場合、100 人程度まで収容可
但馬ふるさと館	1 階	研修室 (60 人程度) 8.4m×15.6m 多目的ホール (60 人程度) 9.6m×9.3m
	2 階	工作室 (80 人程度) ※各種工作用具を備えています。
大屋根広場		半屋外の多目的広場 32m×22.5m (球技不可) ※ファイヤー場としての使用も可能です。 ※ワイヤレスマイク・CD・Bluetooth等、対応可

※敷地内に公衆電話はありません。

## (2) 野外施設

施 設 名	施 設 の 概 要
キャンプ場	ファイヤー場 2 か所 (第 1 : 120 人程度、第 2 : 40 人程度) 野外キッチン 4 棟 (1 棟に炉 6、調理場・流し 6) 野外卓 24 台 (1 台につき 8 人程度) トイレ、ミーティング室、せせらぎ池
自然観察路	<small>あさごやま</small> 朝来山北側斜面 (施設内) に 8 コース設置 (むさびコースは通行不可) 朝来山展望台、雲海展望台、展望の丘等があります。 ※くまコース入口付近にある <small>あめのみや</small> 雨乃宮の池では、6 月頃にはモリア オガエルの卵塊を見ることができます。雨乃宮の池生態系は朝 来市天然記念物に指定されています。
森のスポーツ広場	約 2,100 m <sup>2</sup> の広場 (球技可) じゃぶじゃぶ池、トイレ、倉庫 ※大人数の場合、ファイヤー場としても利用可。
芝生広場	約 1,200 m <sup>2</sup> の広場 (球技不可)
うりぼうの森	自然観察、散策場所
けろトープ	水辺の生物観察場所 ※6 月頃にはモリアオガエルの卵塊を見ることができます。

## 2 施設使用料 1人1泊につき 550円 (障害者減免制度あり)

※ただし、令和8年度利用決定校(令和7年3月31日までに利用が決定している学校)については500円

## 3 諸経費(消費税込み)

- (1) 食費(食堂での食事) ※野外炊事、弁当等は別表参照

3食 2,180円(朝食570円 昼食690円 夕食920円)

- (2) リネン使用料

ア 布団用シーツ 500円(敷き布団用シーツ、掛け布団用シーツ、枕カバー)

イ 寝袋用シーツ 250円

- (3) 本校指定のごみ袋

1枚(45Lサイズ) 20円(食堂で販売)

(燃えるごみは、本校指定のごみ袋に入れ、食堂横の「ごみステーション」(利用団体用)に捨ててください)

- (4) 野外炊事メニュー及び材料費

メニュー・食材名	基本料金	主 な 材 料
米	90円	100g
	110円	130g
	125円	150g(1合)
	※食堂で米を炊いた場合は、上記に30円増しとなります。	
カレー	330円	牛肉、じゃがいも、人参、玉ねぎ、カレールウ
焼きそば	330円	そば玉、豚肉、人参、ピーマン、キャベツ、玉ねぎ、焼きそば用ソース
バーベキュー	820円	牛肉、ウインナー、ピーマン、キャベツ、玉ねぎ、かぼちゃ、さつまいも、とうもろこし、焼き肉用たれ
肉じゃが	330円	牛肉、じゃがいも、人参、玉ねぎ、糸こんにゃく、調味料
豚汁	330円	豚肉、大根、人参、里芋、厚揚げ、椎茸、ねぎ、こんにゃく、味噌、和風調味料
カートンドッグ	250円	コッペパン、キャベツ、ウインナー、ケチャップ
棒焼きパン	130円	パン生地(70g)
お茶	150円	約10L ※朝食時の水筒補給は無料です。
幕の内弁当	690円	I~IIIの3種類
おにぎり(1個)	160円	梅、おかか、鮭、昆布
パン(1個)	150円	あんパン、クリームパン、メロンパン
ジュース(1本)	130円	紙パック(200mL) アップル、グレープ 他
お茶(1本)	130円	紙パック(250mL)
牛乳(1本)	110円	200mL
ペットボトル飲料(1本)	160円	500mL スポーツ飲料、お茶等(キャップとラベルを外すと回収可能です)
アイスクリーム(1個)	110円~	※値段は直接食堂業者へお問い合わせください。
バナナ(1本)	110円	
カレールウ(缶)	320円	1箱

※野外炊事の食材は、すべて別紙①でお申し込みください。

※上記以外のメニュー、食材は事前に食堂業者とご相談ください。

※食数の変更等については、食堂業者に直接ご連絡ください。

(5) 薪、クラフト材料等料金 (事前に別紙②で注文してください)

No.	品名・数量	料金	No.	品名・数量	料金
1	ファイヤーセット(1m×14本 薪2束)	5,000円	10	収集業者指定ごみ袋1枚(45L)	20円
2	薪1束	420円	11	乾電池単一1個	110円
3	炭1箱(6kg)	1,400円	12	アルミホイール1本(幅25cm×8m)	180円
4	灯油1L	140円	13	ろうそく大1本(18cm)	80円
5	焼き板用杉板1枚(20cm×15cm×1.5cm)	110円	14	ろうそく中1本(14cm)	40円
6	焼き板用ガスボンベ1本(バーナーはレンタル)	500円	15	ろうそく小1本(10cm)	15円
7	焼き板用ガスバーナー(レンタル)	100円	16	ヒートン(15mm)+ストラップ(1つ)	80円
8	孟宗竹1m	200円	17	紙やすり(No240,400)230×280	110円
9	真竹1m	250円	18	紙やすり(No2000)230×280	130円

※その他取扱物品(料金については、食堂業者にお問い合わせください)

1	たこ糸1巻(80m)	8	針金100g(約10m)
2	ニス1本(300cc)	9	麻ひも1m
3	セロハンテープ1巻	10	瞬間接着剤1本
4	くぎ100g(長さ3cmが100本程度)	11	のり1本(70g)
5	洗濯用洗剤(500g)	12	木工用ボンド180g入
6	画用紙1枚(54cm×39cm)	13	木工用ボンド50g入
7	模造紙1枚	14	作業用手袋1ダース

※社会情勢により料金変動する場合がありますこと、ご了承願います。

※諸経費はすべて食堂業者にお支払いください。

食堂業者

(有)こめやストアー 迫間厨房センター

TEL 079-676-4778 FAX 079-676-4777

注文例

キャンプファイヤー (トーチ棒の販売は行っていません)

No.1 ファイヤーセット + No.4 灯油2L

焼き板

No.5 焼き板用杉板 + No.6 焼き板用ガスボンベ + No.7 焼き板用ガスバーナー  
(ガスボンベ1本で 焼き板用杉板を15枚程度焼くことが可能)

## 4 活動用備品等

- (1) 提出された「備品等貸出カード」(別紙④)に基づいて貸し出します。ただし、自然学校期間中は、事務室との連絡用として無線機1台を毎日利用していただきます。
- (2) 乾電池等の消耗品は利用者でご準備ください。
- (3) 紛失、破損等があった場合、事務室にご連絡ください。(弁償していただく場合があります)
- (4) 状況に応じて、貸し出しできない場合があります。事務室にご確認ください。
- (5) ☆印が付いているものは、1つにつき数字分の単1乾電池をご準備ください。
- (6) 備品の受け渡し及び返却は、保管場所となります。
- (7) 貸出時間は原則9:00~21:00です。ただし、無線機については、充電の必要があるため、原則8:00~16:20とします。
- (8) その他、必要なものがありましたら、事前にお問い合わせください。

### 本館

ワイヤレスマイク(大屋根用)	2	無線機	12	CDラジカセ	6	懐中電灯☆4	6
車椅子	3	敷き布団用防水シート	10	電気スタンド	2	充電式LEDランタン	15
高枝ノコギリ	1						

### 自然観察館

顕微鏡	25	虫めがね	100	ピンセット	80	天体望遠鏡	6
フィールドスコープ	6	双眼鏡	70	星座早見	200	捕虫網	50
たも(魚捕り用網)	50	虫かご	35	飼育ケース	40	ホワイトボード	2
長机(長脚)	30	椅子	120	箱めがね	20	ルーペ	15
ラミネーター	1	プロジェクター	1	燭台(キャンドルサービス用)	3	手持ち燭台	90
懐中電灯☆4	8	銀マット	30	工作マット(長机用)	9	液晶モニター(58インチ付)	1

### 工作室

両刃のこぎり	35	片刃のこぎり	10	竹引きのこぎり	40	クラフトのこぎり	50
かなづち(げんのう)	90	くぎぬき	40	かな(大人のみ使用可)	20	きり	80
小刀(切りだし刀)	200	剪定ばさみ	20	なた(大人のみ使用可)	8	木づち(なた用 25・一般25)	
ゴムハンマー	4	木エヤスリ	30	竹工なた	30	彫刻刀セット	30
はさみ(紙切り用)	80	小型万力	20	粘土板	150	紙すき器	80
アイロン	10	アイロン台	10	カッティングマット	100	ワイヤーブラシ	150
電気ミキサー	15	たらい(大)	15	たらい(小)	20	洗濯機	1
ポリバケツ	20	定規(30cm)	50	電動糸のこ	9	電動ドリル	3
さしがね	25	ベルトサンダー	2	グルーガン	30	ハンドドリル	20
鍋(草木染め用)	8	飾り炭用ブリキ缶(レンガ付)	10	電気ポット	5	ザル	20
カセットコンロ	8	ペンチ	40	ラジオペンチ	20	煮沸消毒用鍋	2

### キャンプ場倉庫(ミーティング室)

皿(カレー用)	180	しゃもじ	48	さいばし	24	皮むき	48
包丁(野菜用)	48	まな板(野菜用)	48	スプーン	180	飯盒(5合炊き)	48
鍋	24	鍋蓋	24	計量スプーン	12	計量カップ	24
たまじゃくし	24	ざる	50	ボウル	60	大鍋	2
棒焼きパン用棒	150	バーベキューコンロ	14	なた(薪用)	4	キンドリングクラッカー(ハンマー付)	12
寝袋	80	運搬用かご	25	羽釜・かまど	2		

※バーベキューコンロのサイズ:(縦×横×高さ) 30cm×45.5cm×70cm

### うりぼうの森倉庫

1人用テント	30	2人用テント	25	5人用ドーム型テント	5	銀マット	90
寝袋	90						

### 森のスポーツ広場倉庫

長縄 (大縄跳び)	15	綱引き用ロープ	2	ペタンクセット	16	フライングディスク	70
-----------	----	---------	---	---------	----	-----------	----

### 食堂下倉庫

マウンテンバイク	72	自転車用ヘルメット	72	プロテクター (肘・膝)	72	長靴 (19~28cm)	300
銀マット	60	1人用テント	60	作業用ヘルメット	200	アルミ脚立4段(大屋根用)	12
移植ごて	50	ブランコ	12				

## 〈参考〉

### 生活棟 (備付備品)

冷蔵庫 (注)	2	ドライヤー	3	電気ポット	1	テレビ	1
防災セット	2	耐火金庫	1	洗濯機、乾燥機	2	電気掃除機	4
空気清浄機	2	長机	9	ホワイトボード 大2小1		コインロッカー (100円返却式)	

(注) くすのきの館のみ冷蔵庫 1 (2階指導者室にあり)

## 県立南但馬自然学校イラストマップ



## 5 入校から退校まで

### (1) 入校

ア 入校時間は9:00から16:00までです。

イ バスはロータリーの指定の場所に、その他の車（生活棟への乗り入れを許可された車を除く）は、必ず車内に駐車票を掲示し、一般駐車場に駐車してください。

※駐車票は事前に送付しますので、各校で増し刷りしてください。

### (2) 入校手続き（入校式後でも可）

利用校及び利用団体の責任者等は到着後、速やかに本館エントランスホールにお越しください。

ア 人員、食数、布団用シーツ注文数、クラフト材料等の確認

イ 南但馬自然学校の利用にあたっての説明

ウ 利用生活棟、プログラム活動内容、活動場所等の確認

エ 生活棟乗入特別許可証及び生活棟の鍵、事務室との連絡用無線機1台

※必要に応じて、無線機を貸し出します。

### (3) 入校式

ア 入校式は大屋根広場または芝生広場等で行ってください。

イ 司会進行は利用校でお願いします。

ウ 入校式の中に本校学校長のあいさつ・職員紹介を入れてください。入校式の「終わりの言葉」の後、施設職員からの話をさせていただきます。

#### <入校式の進行例>

- |                     |              |
|---------------------|--------------|
| 1 はじめの言葉            | 4 利用校児童代表の言葉 |
| 2 利用校代表者あいさつ        | 5 終わりの言葉     |
| 3 南但馬自然学校長あいさつ・職員紹介 | 6 施設職員からの話   |

エ 16:00までに実施してください。16:00を過ぎる場合は、翌日の9:00以降となります。

### (4) 生活時間

ア 1日の生活時間は、利用校で決めてください。ただし、他校との調整は当該校間で行います。

イ 21:00までには生活棟に戻ることができるよう、夜間における生活棟以外での活動（入浴を含む）を計画してください。

ウ 担当者連絡会を毎日16:20から本館エントランスホールで行います。

各利用校及び利用団体から必ず1名以上出席してください。

### (5) 生活棟の利用

ア 生活棟の利用が可能となるのは、入校日の13:00以降です。

イ 生活棟を空けるときは、玄関及び窓を施錠し、照明・エアコン・ストーブ（冬季）のスイッチを切ってください。

ウ 生活棟での飲食はできません。※お茶や水の水分補給は可能です。

エ 退校日の朝、1階洋室はベッドの上に、2階和室は部屋の隅に寝具（布団、枕）を整理整頓してください。2階指導者室は使用した布団、枕を押入れの前に出しておいてください。

オ 節電、節水をお願いします。

カ 荷物は、整理整頓してください。

キ 生活棟の1階指導者室（くすのきの館は2階）の流し台に電気温水器を設置しています。

レバーをお湯方向へいっぱいに向けると熱湯が出ます。必ず温度調節レバーを回し温度を調節してください。なお、飲用とする場合は、冷水方向へいっぱいに向け利用し、温める場合は電気ポットをご利用ください。なお、2階指導者室の電気コンロは使用不可です。

ク 電灯とエアコンは、1階指導者室で一斉管理できます。なお、各部屋の電灯は1階指導者室のスイッチを入れてから点灯してください。

ケ 就寝時は、玄関の鍵をかけてください。

コ 生活棟の指導者室にある電話機は内線専用です。外線発信はできません。

## (6) 食堂の利用

ア 食堂は8人用のテーブルと6人用のテーブルがあります。（参照：P20の建物平面図）

イ 食堂棟利用可能時間

	4月～10月（夏季）	11月～3月（冬季）
朝食	7：30～ 9：00	7：45～ 9：15
昼食	12：00～13：30	12：00～13：30
夕食	17：15～19：15	17：00～19：00

ウ 食事はカフェテリア方式（セルフサービス）です。食堂西側の入口から入り、手を洗ってから配食レーンを通り、席へ移動してください。配食の方法については、短時間で配食できるよう利用校（団体）で工夫してください。なお、5類感染症等発生時は、本校作成のマニュアルに従ってください。また、食堂利用者の全員が配食し着席するまで、おかわりはできません。

エ 食べ終わったら、食器の返却場所で残飯等を分別してポリバケツに入れ、食器はシャワーで汚れを落とし、静かに水槽に入れてください。箸、スプーンは所定の容器に入れてください。

オ 食後はテーブルやカフェテリア台の上をふきんできれいに拭き、椅子は整頓してください。

カ 朝食時には持参の水筒にお茶を入れることができます。

キ 食物アレルギーによる代替食の受け渡しについては、必ず教員が食堂業者と代替食メニューを確認した上で、該当児童が直接受け取ることとしています。

## (7) 浴室棟の利用

ア 利用時間は、児童は17：00～20：50、指導者は17：00～22：30です。

※活動中、雨に濡れた場合等については、入浴時間を本校職員と相談してください。

イ イス、桶を整頓し、忘れ物、ごみのないようにしてください。

ウ 指導者は、児童及び自身の入浴後、浴室の点検をしてください。

エ 浴槽内の排水口は吸引が強いため、髪の毛や洗面器、タオル等を近づけないように注意してください。

オ 脱衣所から出られる際、他に入浴している方がいない場合は、**浴槽の栓は抜かず、換気扇は回したまま消灯し、廊下への扉については開扉のまま**にしておいてください。小浴場では、浴槽の水道栓が閉まっているかを必ず確認してください。

## (8) 他施設

- ア 自然観察館、但馬ふるさと館の利用は、9:00～20:50です。
- イ 自然観察館、但馬ふるさと館は、利用後、本校職員が点検をします。利用後は、内線(306、307)、または無線で事務室まで連絡いただき、点検の際には利用校の教員の立ち会いをお願いします。なお、21:00までに点検が終わるようにご協力願います。
- ウ 朝来山登山時のバイオトイレの利用については、個別に説明します。

## (9) リネン

### ア 貸出

(ア) 事前に生活棟毎の使用枚数をシーツ使用申込書(別紙③)によりお知らせください。生活棟に使用申込数を搬入します。

(イ) 1人につき、敷き布団用シーツ、掛け布団用シーツ、枕カバー各1枚です。

### イ 返却

指導者は児童が、退校日に使用済みの敷き・掛け布団用シーツをたたまずに浴室棟1階にある返却用袋に入れるのを見届けてください。

※敷き布団用シーツ→青色の袋 } にたたまずに入れてください。  
※掛け布団用シーツ→赤色の袋 } 袋の7割程度入ったら、新しい袋に交換してください。

※枕カバーは生活棟ごとにカゴ(各生活棟の名前入り)に広げて入れてください。

使用していないリネン(敷き・掛け・枕のセットになっているもののみ)は事務室に返却ください。

布団の汚れが発生した場合、速やかに事務室(指導課)までご連絡ください。状況によりクリーニングします。その際はクリーニング料をお支払いいただくことになります。

(敷き・掛け布団:各4,200円、枕:850円)

## (10) ごみ処理

ア 生活棟のごみは、本校指定のごみ袋に入れて、食堂横のごみステーション(利用団体用)に出してください。

イ 持ち込まれた燃えないごみ(缶、ビン、ペットボトル、トーチ棒用の針金等の金属類)は、全て持ち帰ってください。

ただし、食堂で購入したペットボトルについては、本校指定のごみ袋に入れると捨てることができます。

## (11) 清掃

ア 生活棟は適宜清掃してください。

### イ 方法

(ア) 宿泊室は、ほうきまたは掃除機を使ってください。

(イ) ふれあいスペースはモップで拭いてください。冬季は、ふれあいスペースにカーペットが敷いてありますので、掃除機で掃除してください。

(ウ) 洗面所は、備え付けのスポンジ等で汚れを落としてください。

(エ) トイレは、基本、掃き掃除のみとしてください。汚れがひどい場合は水をまき、掃除してください。

(オ) 便器は、トイレブラシで中の汚れを落とし、水を流してください。

- (カ) トイレトペーパーは、階段横倉庫から取り出し補充してください。
- (キ) 掃除用具は1階の倉庫と2階のクローゼットに、トイレの掃除用具は男子トイレ入ってすぐ左の倉庫、女子トイレ入ってすぐ右の手洗い場にあります。
- (ク) ごみは、退校時に燃えるごみ・燃えないごみに必ず分別して集め、燃えるごみは、本校指定のごみ袋に入れて食堂横の「ごみステーション」(利用団体用)に出してください。持ち込まれた燃えないごみは、お持ち帰りください。
- (ケ) 各部屋のごみ箱のごみを捨てて、ビニール袋をかけてください。
- (コ) トイレのサンタリーボックスは、ボックス内のゴミを回収し、新しいビニール袋(階段横倉庫にあります)をかけてください。

## (12) 退校

### ア 退校準備

- (ア) 退校日には、次の利用者が気持ちよく利用できるよう清掃してください。
- (イ) 布団や枕はシーツ・カバーをはずし、髪の毛やほこり等を取り払ってから、きちんとたたんで所定の場所に整頓してください。  
**(敷き布団の裏面に髪の毛やほこり等が多く残っている場合があります)**
- (ウ) 各部屋のカーテン、入り口のドアは開け、カーテンはカーテンリボンでとめてください。窓は、晴天時には開けておいてください。
- (エ) 本校職員が9:00から生活棟を点検しますので、利用校の教員の立会いをお願いします。同一週に複数の利用校がある場合、点検の順番は担当者連絡会で調整します。
- (オ) 諸経費の支払い等の手続きをしてください。

### イ 退校式

- (ア) 退校式は、大屋根広場または芝生広場等で行ってください。
- (イ) 司会進行は利用校をお願いします。
- (ウ) 本校職員のあいさつを入れてください。
- (エ) 同一週で最後に退校する利用校は、退校式後、バスの出発までに大屋根広場にブラシをかけてください。

## (13) 指導者へのお願い

- ア 児童の健康と安全については、利用校で十分ご留意ください。けが人や急病人が出た場合、火災が発生した等の場合は、適切に対応するとともに、事務室に連絡してください。

〔内線 306・307〕

- (ア) 医療機関との連絡調整及び、救急車等の緊急要請は利用校をお願いします。
- (イ) 夜間(21:45以降)の連絡先は、宿直室(内線308)です。
- (ウ) 医療機関の連絡先はP14の救急体制を参照ください。

※医療機関との連絡調整にあたり、以下の内容を参考にしてください。

- ① 該当児童に関する情報  
名前、生年月日、性別、血液型、体重等
- ② 診療時の持ち物

・被保険者資格情報を確認できるもの

※確認書類等につきましては、医療機関により対応が異なりますので、各医療機関

に事前に確認願います。 P14「病院等の連絡先」を参照してください。

・診療代

・該当児童に関する書類

(保護者連絡先・住所・持病・飲んでいる薬など)

・スポーツ振興センターの書類(医療等の状況)

※調整報酬明細書は薬局に提出してください。

・学校への返信用封筒(返信用切手も含む)

③ 受診の連絡をする前に、生活棟の指導者室にあります「救急体制等の手引き(赤いファイル)」もしくは救急員用の青いファイルの医療機関一覧表で診療(受付)時間等を確認してください。

④ 必ず当該児童の症状等が分かる方が連絡してください。

※救急受診を除き、診療機関からの紹介なく総合病院(八鹿、豊岡)で受診される場合は、診察代の他に初診時選定療養費7,000円が別途必要となります。

イ 貴重品は、利用校の責任で保管してください。

ウ 施設、設備、備品等を破損や紛失した場合は、速やかに事務室に連絡し、指示を受けてください。

エ 校内での喫煙及び飲酒は禁止です。

オ 避難経路及び消火器の設置場所を確認してください。

カ セロハンテープ、ガムテープ、メンディングテープ、ビニールテープ等のテープ類や画鋲を壁や窓ガラスに貼らないでください。

キ 火災防止のため、所定の場所(大屋根広場、ファイヤー場、野外キッチン、森のスポーツ広場)以外での火気の使用は禁止です。花火は全面禁止です。

ク 大屋根広場、芝生広場は、施設が近くにあるため球技不可としています。

ケ 無線機は自然散策や登山等、広い範囲の野外で活動する時に使用してください。必要最小限の交信を心がけてください。

コ 緊急時には、校内放送が利用できます。

サ 校内での車の使用は禁止です。ただし、特別の事情がある場合は申し出てください。

シ 3月下旬から12月中旬までの夜間、鹿柵として門扉を閉めます。通られる際は閉じてある門を開けて通られましたら、元の状態に戻してください。

ス 郵便ポスト(1日1回収集)は食堂から自然観察館に行く途中にあります。集荷時間をご確認の上ご利用ください。

セ 指導者は名札を着用してください。

## 6 キャンプ場

---

(1) 1人用、2人用、5人用テント

ア 第1ファイヤー場及び第2ファイヤー場に設営できます。(芝生広場にも設営可)

イ 寝具は銀マット、寝袋、寝袋用シーツが必要です。シーツ使用申込書(別紙③)にてお知らせください。

ウ テント内は土足厳禁です。また、火気の使用もできません。

- エ テント内の照明は懐中電灯か充電式LEDランタンを使用してください。
- オ 撤収時は掃除をして、次の利用者が気持ちよく使用できるようにしてください。
- カ 撤収時に本校職員が点検しますので、利用校の教員の立会いをお願いします。

## (2) 野外キッチン

※野外キッチンは、冬季期間(12月中旬～3月中旬)は利用できません。

- ア 火災や事故の防止にご留意願います。
- イ 野外キッチン周辺は、段差や坂が多いため、安全に配慮願います。
- ウ 洗剤・スポンジ等は本校から貸し出すことができます。
- エ 貸し出した食器等は洗った後、乾いたふきん（最低1人2枚は必要）で、水気を完全に拭き取ってから返却してください。
- オ 薪は束になっています。指導者は野外炊事終了後「薪使用カード」に使用束数を記入し、半券を食堂に提出してください。

※余った薪は、1束単位にすることができれば返却が可能です。また、キャンプファイヤーでの使用も可能です。

- カ 燃え残りの薪は、燃やしきってください。灰は、灰捨て用缶に入れ、流しの下にあるバケツを使って水で浸した状態にして、薪置き場の横にある灰置き場に持って行き、灰置き場にある空の灰捨て用缶を元の場所に置いてください。
- キ 燃えるごみや生ごみは、本校指定のごみ袋に入れて、「キャンプ場ごみ置場」に出してください。燃えないごみ（缶、ビン、ペットボトル、トーチ棒用の針金等の金属類）は、すべて持ち帰ってください。
- ク 生ごみが下水に流れ込むと、詰まって全体が使用できなくなるため、充分にご注意ください。
- ケ 野外卓を使用した後は必ず掃除してください。
- コ 野外炊事用具は、キャンプ場倉庫前で本校職員が立ち会いのもと貸し出します。また、返却時も本校職員が点検します。
- サ 野外キッチンで音楽を流すのは不可です。（近隣住民の迷惑になるため）

## (3) ファイヤー場（大屋根広場、森のスポーツ広場を含む）

- ア 第1及び第2ファイヤー場で使用した薪は、薪が燃えきったらドラム缶の蓋をかぶせてください。（森のスポーツ広場も同様）
- イ 灰は翌朝始末し、指定された場所に持って行ってください。
- ウ トーチ棒等を使って燃え残った針金等の金属ごみは、持ち帰ってください。
- エ 必要に応じて照明灯及びコンセントが利用できます。（スイッチは電柱に付属しています）
- オ 所定の場所（大屋根広場、ファイヤー場）以外でのキャンドルロードは禁止です。
- カ 森のスポーツ広場では、倉庫横にあるトタン板を敷いてから薪を組んでください。
- キ 大屋根広場で使用した薪は、燃やしきってください。

## (4) その他

- ア 夜間のトイレ使用については2人以上で行動してください。
- イ トイレはきれいに使用し、利用後は清掃してください。
- ウ 内線電話は、ミーティング室外の壁面に備え付けてあります。

# 布団のたたみ方

## 1階洋室



掛け布団は、絵柄を中にしてたたみ、ベッドの真ん中に置く。

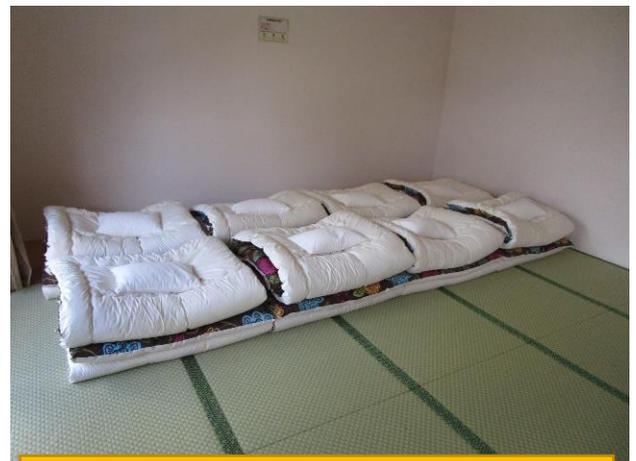


掛け布団は、入口側に折り目が見えるようにたたむ。

## 2階和室



掛け布団は、かべ側と入口側に折り目が見えるようにたたむ。



そろえて置く。

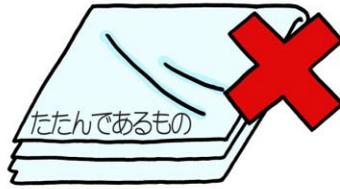


布団は、かべから30cmぐらいはなす。



★布団をたたむ前には、必ず髪の毛やゴミなどを取り払う。

# シーツの袋への入れ方



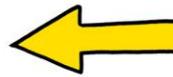
広げて



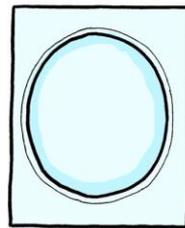
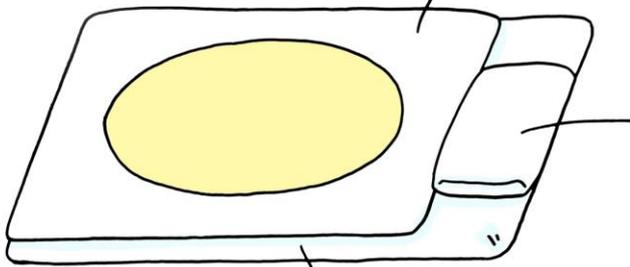
このままでは入れられません!



シーツの種類別に袋に分けて入れよう!  
みんなで協力すると早くできるよ!



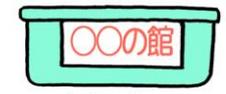
シーツは  
3種類あるよ



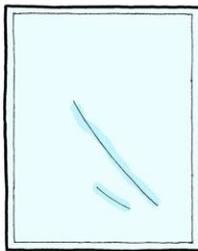
かけ布団のシーツ  
・2枚重ね  
・1枚は丸く穴が開いている



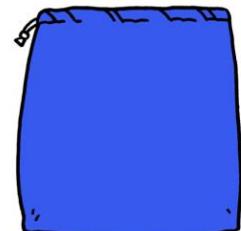
まくらカバー



広げて重ねる  
各生活棟のかごへ

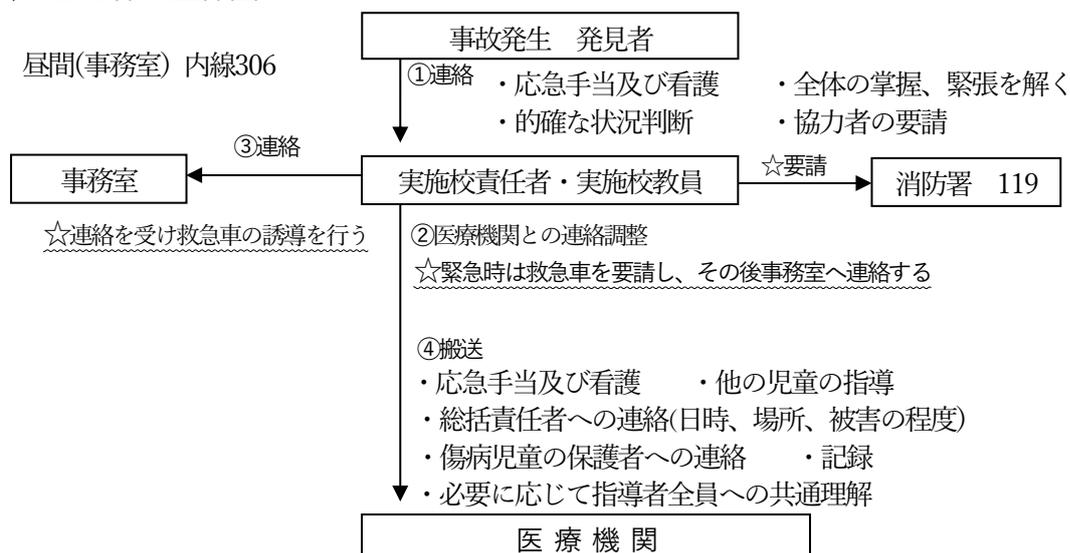


しき布団のシーツ  
・1枚の大きい布



## 7 救急体制

### (1) 救急体制全体図



本館エントランスホール・生活棟さくらの館ベランダ下・野外キッチン倉庫の3か所にAEDを設置しています。

### (2) 病院等の連絡先

・南但消防本部	TEL 079-672-0119	・南但馬警察署	TEL 079-672-0110
・ふく福タクシー	TEL 0120-329-293	079-670-1269	
・旭タクシー (和田山)	TEL 079-672-3221		
・全但タクシー (株) 和田山	TEL 079-672-2807		

※休診日は変更になることがあります。診療時間についても医療機関により異なりますので、受診前にご確認ください。

病院名	電話番号	診療科目	所要時間	休診等
朝来医療センター	079-672-3999	内科・整形外科・外科等	車で15分	※内科のみ午後の診療もあります。
八鹿病院	079-662-5555	総合診療科・内科・外科・皮膚科・小児科・整形外科等	車で30分	※総合診療科は24時間対応可能
豊岡病院	0796-22-6111	総合診療科・内科・外科・皮膚科・小児科・整形外科等	車で45分	※救急は24時間対応可能
神崎総合病院	0790-32-1331	内科・外科・眼科・耳鼻咽喉科・小児科・整形外科等	車で45分	土曜、日曜、祝日
小山医院	079-674-0333	内科・小児科	車で10分	水・土曜午後、日曜、祝日
クリニックよしだ	079-670-0006	内科・小児科	車で15分	土曜午後、日曜、祝日
谷村医院	079-672-2016	内科・小児科	車で20分	土曜午後、木曜、日曜、祝日
足立医院	079-672-0250	整形外科	車で20分	水・土曜午後、日曜、祝日
枚田クリニック	079-664-0199	脳神経外科	車で30分	木・土曜午後、日曜、祝日
井上皮膚科医院	079-672-0377	皮膚科	車で20分	木曜、日曜、祝日
いわわき眼科クリニック	079-672-0601	眼科	車で15分	水曜、土曜午後、日曜、祝日
高岡耳鼻咽喉科クリニック	079-672-0808	耳鼻咽喉科	車で15分	木・土曜午後、日曜、祝日
安達歯科医院	079-672-5225	歯科	車で20分	木曜、日曜、祝日
うえがき歯科医院	079-672-1888	歯科	車で20分	土曜午後、日曜、祝日
三浦クリニック	079-672-4111	内科、外科、小児科	車で15分	木・土曜午後、日曜、祝日
正垣耳鼻咽喉科クリニック	079-663-4187	耳鼻咽喉科	車で30分	木・土曜午後、日曜、祝日
南但休日診療所	079-672-5269	内科・小児科	車で15分	※診療日 日曜、祝日 (12月～3月のみ) お盆(8/14)、年末年始(12/31～1/3)

※休診日は変更になることがあります。診療時間についても、医療機関により異なりますので、受診前にご確認ください。

※生活棟の電話機は内線専用です。外線発信はできません。

豊岡病院  
 国道312号線を豊岡方面に  
 45分北上したところにあります。

# 病院案内図



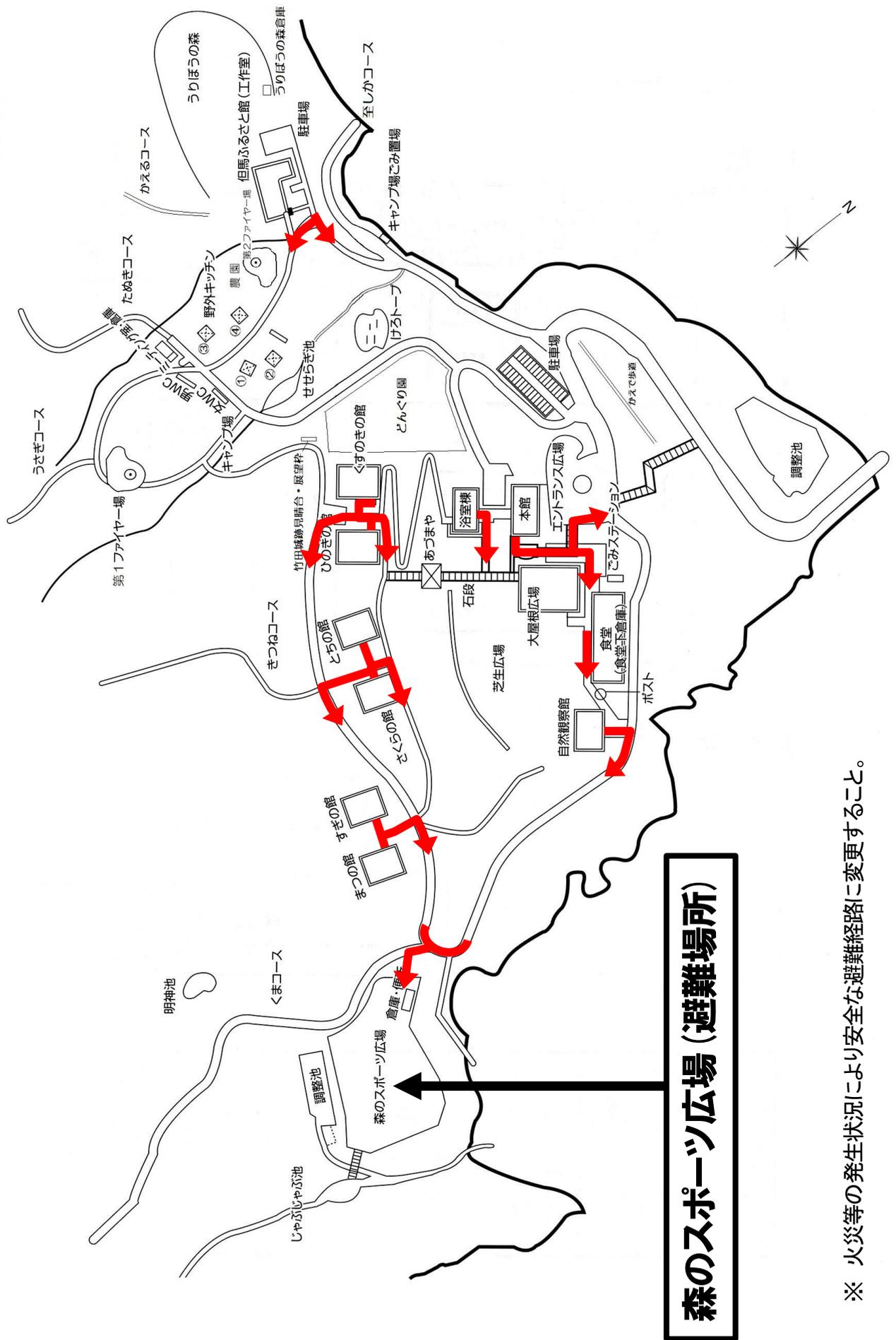
和山・山東方面

八鹿・養父方面



神崎総合病院  
 国道312号線を姫路方面に45分  
 南下したところにあります。

# 8 避難経路図

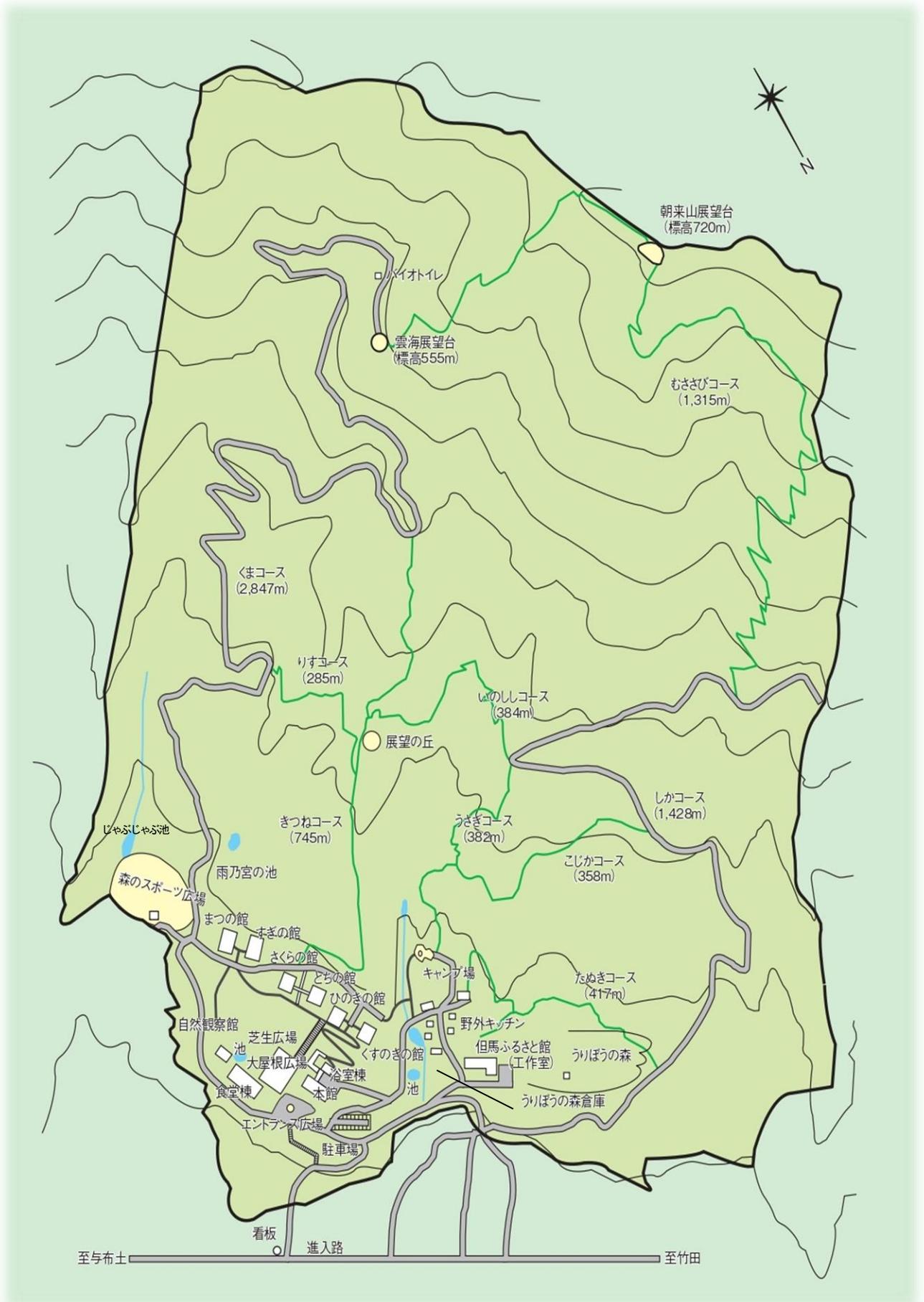


**森のスポーツ広場 (避難場所)**

※ 火災等の発生状況により安全な避難経路に変更すること。

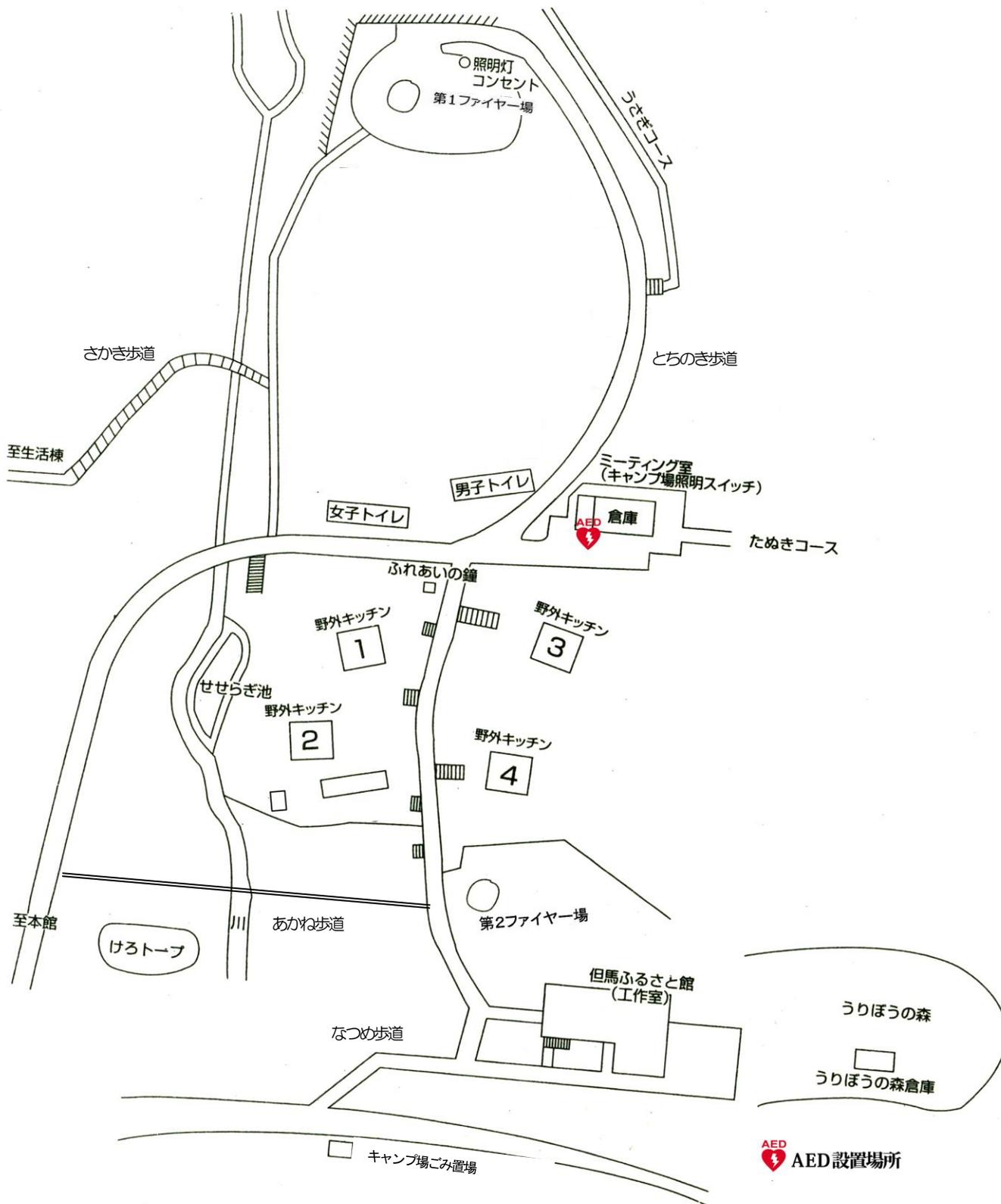
# 9 施設図

## (1) 全体図





(3) キャンプ場配置図

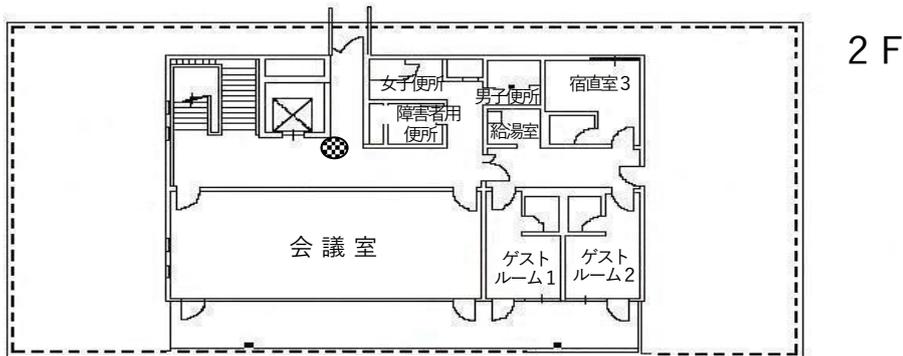
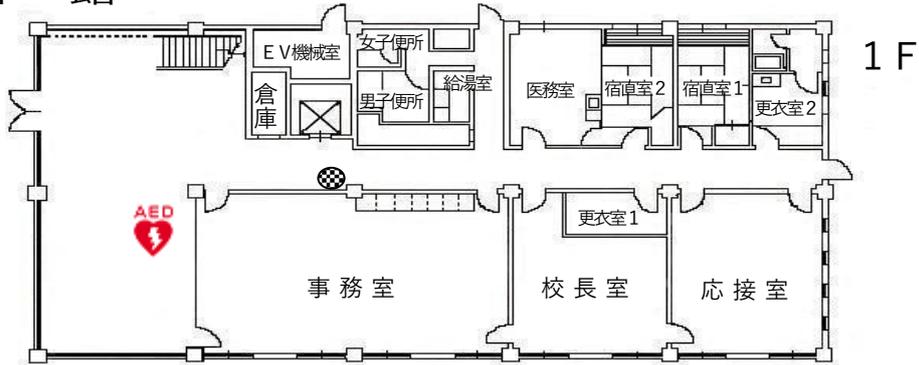


(4) 建物平面図

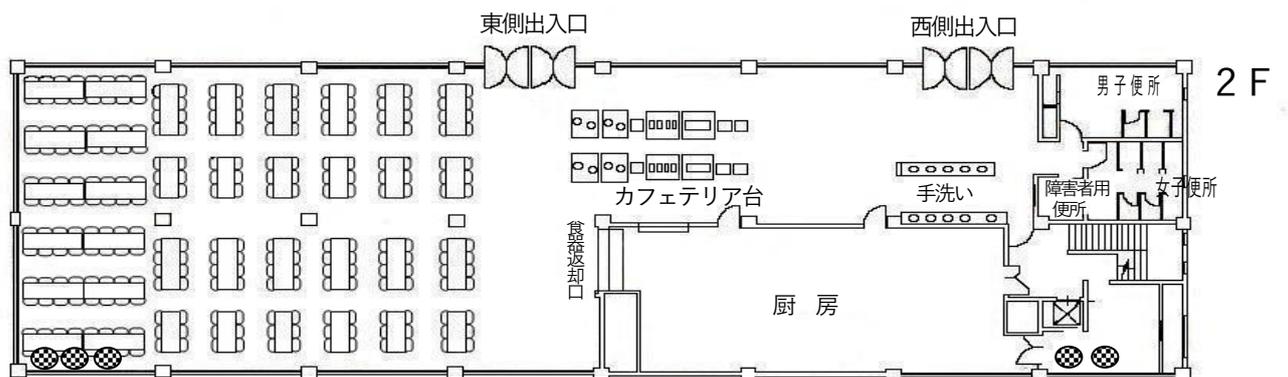
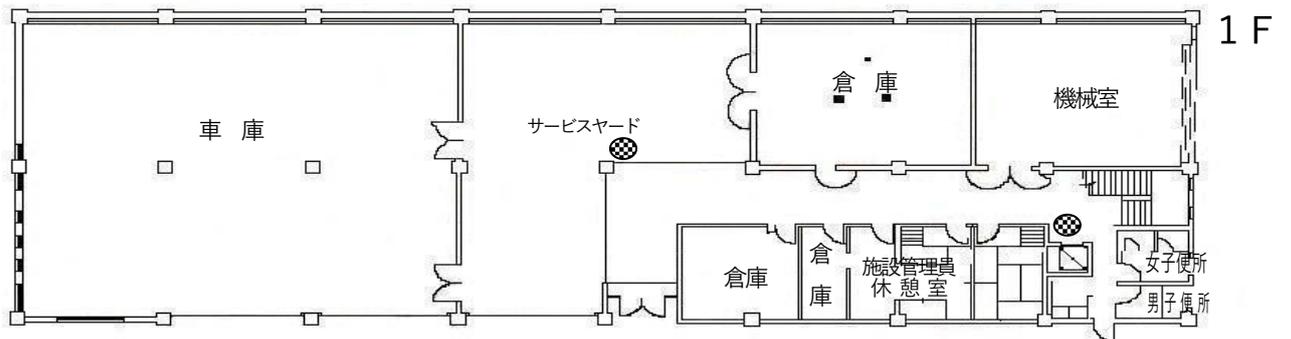
● 消火器設置場所

AED  
AED設置場所

本館



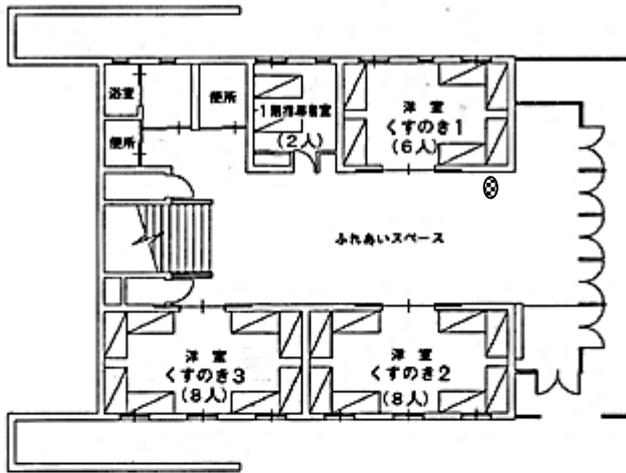
食堂棟



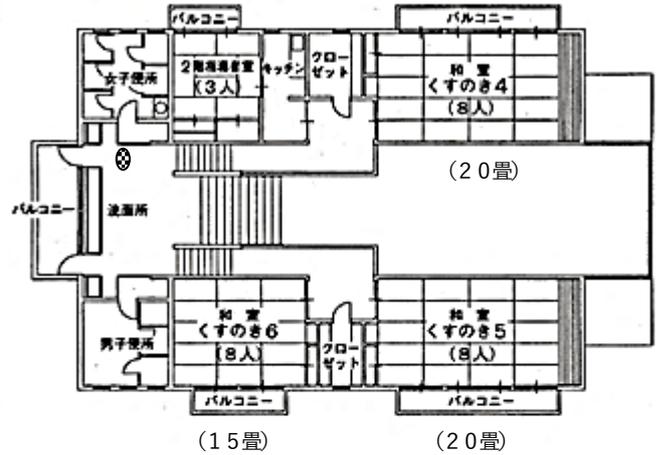
生活棟平面図

生活棟 (くすのきの館)

1F

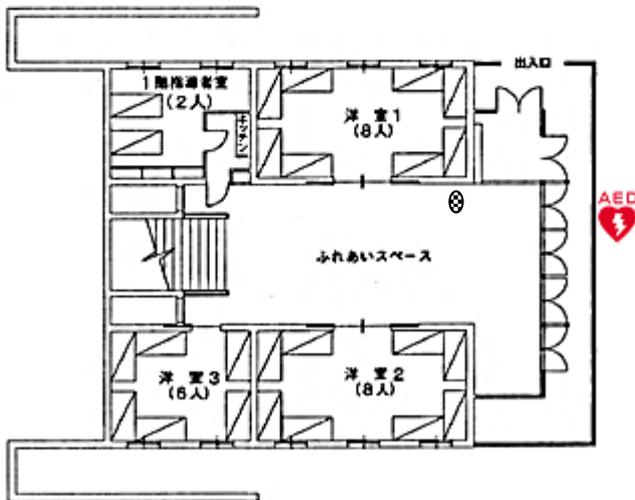


2F

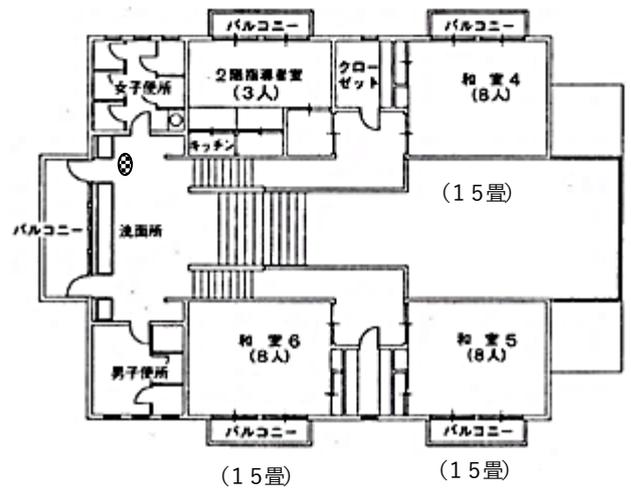


生活棟 (ひのきの館、とちの館、さくらの館、すぎの館、まつの館)

1F



2F



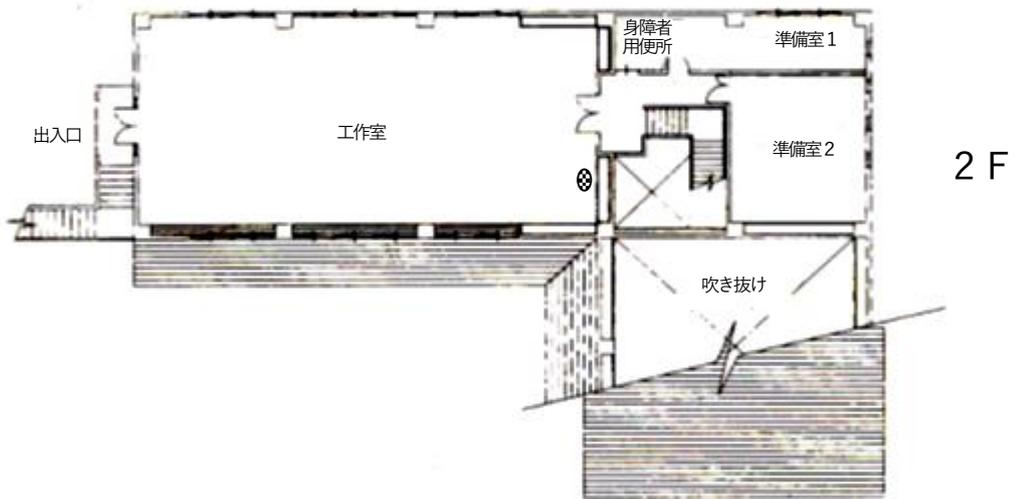
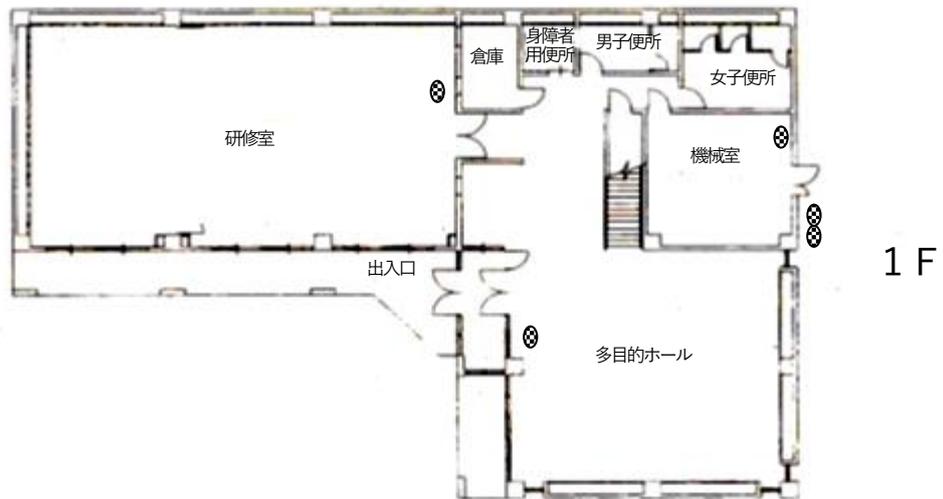
⊗ 消火器設置場所



AED設置場所

(さくらの館ベランダ下のみ)

但馬ふるさと館（工作室）



自然観察館





# 10 内線電話番号

夜間(21:45以降) 緊急連絡先 内線308

場 所		番 号	場 所		番 号
本館1階	総務課	303	自然観察館		336
		304			
		318	生活棟	1 階	311
	(くすのき)1		2 階	312	
	指導課	306	生活棟	1 階	321
			(ひのき)2	2 階	322
		307	生活棟	1 階	331
			(とち)3	2 階	332
	宿直室1 (宿 直)	308	生活棟	1 階	341
	宿直室2	309	(さくら)4	2 階	342
医務室	310	生活棟	1 階	351	
本館2階	会 議 室	313	(すぎ)5	2 階	352
			生活棟	1 階	361
			(まつ)6	2 階	362
			但馬ふるさと館2階 工作室		370
浴室棟1階	はきかえ スペース	323	但馬ふるさと館1階 多目的ホール		371
浴室棟2階	さんとうの湯 (女子更衣室)	324	キャンプ場・ミーティング室		372
	はさまの湯 (男子更衣室)	325	森のスポーツ広場倉庫		380

# 1 1 交通案内図



兵庫県  
南但馬自然学校  
HYOGO KENRITSU MINAMI TAJIMA SHIZEN GAKKO  
Nature Education Center



## 交通案内



- 自動車利用**
- 神戸から 約2時間30分 (中国自動車道～播但連絡道路～国道312号線～竹田城下町交差点約2km)
  - 西宮から 約1時間50分 (中国自動車道～舞鶴若狭自動車道～北近畿豊岡自動車道～国道312号線～竹田城下町交差点約2km)
  - 三田から 約2時間00分 (中国自動車道～舞鶴若狭自動車道～北近畿豊岡自動車道～国道312号線～竹田城下町交差点約2km)
  - 加古川から 約1時間15分 (舞鶴若狭自動車道～北近畿豊岡自動車道～国道312号線～竹田城下町交差点約2km)
  - 姫路から 約1時間30分 (加古川バイパス～播但連絡道路～国道312号線～竹田城下町交差点約2km)
  - 姫路から 約1時間00分 (播但連絡道路～国道312号線～竹田城下町交差点約2km)

- J R 利用**
- JR播但線 竹田駅から 約3km (徒歩45分)
  - JR山陰本線 和田山駅から タクシー約15分